

知事を囲む 仙北市議の会



知事を囲む会へ出席する佐竹知事

議会の動き

知事の二丁目一番地 政策 身近な緊急な課 題からスタート

知事との懇談会において仙北市からの要望は、
○緊急な街路網の整備
○誘客対策に必要な観光地整備
○仙北地域の医療体系
○秋田内陸線の存続
○大曲養護学校分教室を旧西長小学校へ誘致
○角館高校と角館南高校統合計画
等、主要な要望事項である。

る。
知事からは街路網の整備について、市の施行事業については県がサポートできる。

県立公園である田沢湖湖岸崩落防止工事は、平成23年で完成する。現在の進捗率は86%である。医療体系の整備は県全体の課題である。国の医療「再生」の中で進めていく。

内陸線の存続については存続に向けて引き続き乗車運動を進めながら、地元、県負担の軽減を図るため国の地域再生特定財源を活用し、進める。大曲養護学校の分教室誘致は、改修費とスクー

ルバスの課題があり保護者への配慮をすべきと考えている。

高校の統合は今後の生徒数減をふまえ、角館南高校へ配慮しながら考えていく。

特に今後の観光行政について、県と市と観光協会が人事も含め機能合体し進めていく。この事によりお客様にサービスを提供できることが大切であるとの考えが示された。

仙北市の課題は多岐にわたっているが今後とも知事を囲む会の開催により、より早い情報、適確な対応のためにも続けて参りたい。



議会議員の定数を2減の22とする条例案可決
(平成22年4月改選から適用)



4月の改選時から2名減となる

仙北市が発足して3年半が経過した現在、合併前からの課題、合併後に顕在化した課題等に加え、国内外における社会経済の急激な変化は、地方自治体をも巻き込み私達がいままで経験したことのない厳しい行政運営を迫られている。このことは、とりもなをさず議会を取り巻く環境も大きく変化してきたことを、意味するものである。

このような観点から、合併以来定数24人制をとってきたところであるが、当議会の各会派（五会派）の代表者会議の協議の結果、2議席減の22人となり、今定例議会に議員提出議案として提出し条例の制定を可としたものである。

ちなみに県内の類似（市）の状況は次のようになっている。◎にかほ市、人口28,921人、定数20人◎潟上市、人口35,603人、定数22人◎大仙市、人口92,853人、定数30人となっている。